

コノハズク

(分類) フクロウ目フクロウ科 *Otus scops*

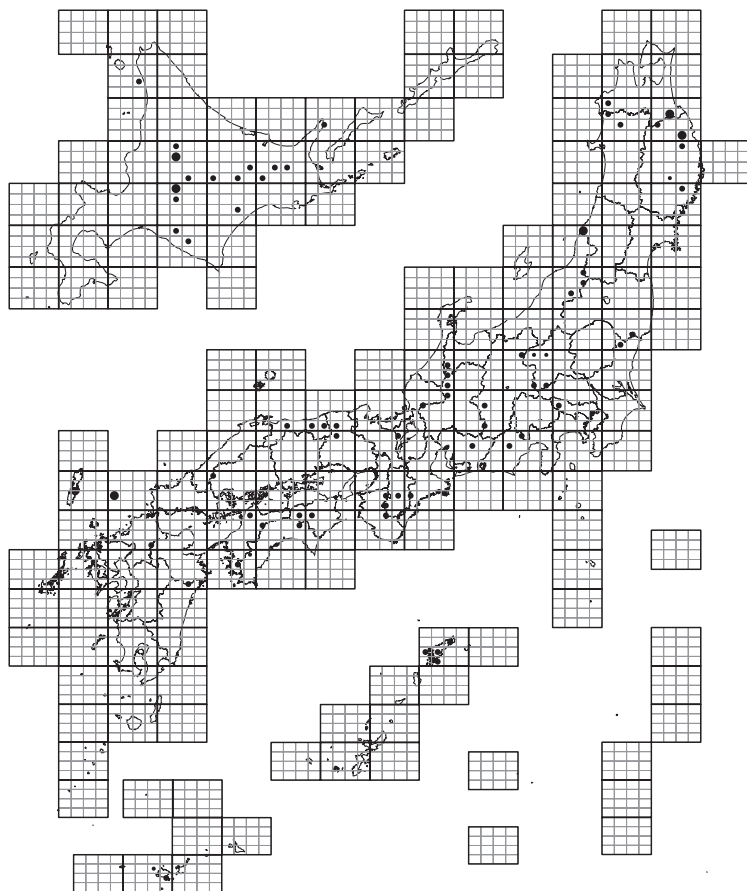
(環境省RDB種) -

(分布) 九州から北海道で夏鳥。ユーラシアに広く分布し、南部の東南アジアやアフリカで越冬。

(生態) おもに山地の茂った森林内にすみ、樹洞で営巣する。5月頃渡来し、6月頃から4～5卵を24日前後抱卵し、約3週間で巣立つ。
夜行性でおもに昆虫類を捕食する。

(参考事項) 第2回調査時はリュウキュウコノハズクをコノハズクの亜種として分布図に含めているが、第6回調査では別種に分類している。リュウキュウコノハズクについては次ページを参照のこと。

1974年—1978年 メッシュ数 A = 6 B = 64 C = 5



1997年—2002年 メッシュ数 A = 2 B = 38 C = 5

